

33:脳梗塞急性期t-PA治療施行率【地域医療計画】

分母	急性脳梗塞の患者のうち、血栓溶解療法(t-PA)がなされた患者)
分子	分母のうち、A205-2超急性期脳卒中加算の算定数
備考	分子について ・超急性期脳卒中加算は、脳梗塞と診断された患者に対し、発症後4.5時間以内に組織プラスミノゲン活性化因子を投与した場合に、入院初日に限り加算できる。
概要	t-PAは脳梗塞の原因となる血液の塊を溶かす薬剤です。脳梗塞発症から4時間30分以内(超急性期)に使用すると効果的と言われています。

施設コード	調査開始日	調査終了日	分母数	分子数	割合
210111438	20190401	20200331	13	13	100.00%
210111438	20200401	20210331	15	14	93.33%
210111438	20210401	20220331	21	18	85.71%
210111438	20220401	20230331	23	21	91.30%
210111438	20230401	20240331	25	25	100.00%
210111438	20240401	20250331	22	22	100.00%
210111438	20250401	20260331			#DIV/0!
210111438	20260401	20270331			#DIV/0!
210111438	20270401	20280331			#DIV/0!
210111438	20280401	20290331			#DIV/0!
210111438	20290401	20300331			#DIV/0!
210111438	20300401	20310331			#DIV/0!

